

<p>実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスや学年全体で学校行事に取り組むことにも進んで参加しようとする姿が見られる。 ・ 素直で明るく、男女仲が良く、みんな遊びに進んで参加したり、当番活動や係活動に積極的に取り組んだりすることができるが、限られた友達と活動する姿も見られる。 ・ 進んで発表できる児童は決まっている。 ・ 話す聞くのルールがあいまいになっている児童もいる。 ・ 計算のスピードに個人差がある。 ・ 進んで文章を書くことができる児童が多い。
<p>教科学力</p>	<p>重点指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各教科の指導で、子ども同士交流し、意図や目的に応じた話し合いができるようにする。 ・ 話の中心をとらえながら聞くため、大切なことはその都度メモするように指導する。 ・ 算数科では、ティームティーチングや少人数指導を行い、丁寧にきめ細かな指導をする。また、基礎・基本に焦点を当て、児童が達成感をえられるようにする。 ・ 漢字学習では、漢字に興味を持って学習できるように、部首や筆順だけでなく意味や語句についても確認しながら指導をしていく。 ・ 社会や理科では、パワーポイントを使って振り返りを行い、知識・理解を深められるようにする。 ・ 朝学の時間に、漢字・語句などの復習ができるような場を設ける。 ・ 各教科の良いノート紹介を廊下に掲示することで、オリジナルノート作りの見通しを持たせる。 <p>家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計算、漢字、音読、読書（週末は20分間読書）を毎日の家庭学習として出し、基礎・基本の定着を図る。 ・ 『自主学習のすすめ』を活用して、自分なりの課題を設定して、学習できるように促す。 ・ 「前進ノート」「学習計画表」「学年文庫」「自主学習」の4つの柱をもとに、学びに向かう力を高める。「前進ノート」では、毎日の読書量を振り返り、意識付けを行う。また、行事やテストなど予定を書き入れ見通しを持たせる。週末には「学習計画表」を配り、計画的に家庭で学習する力を養う。「学年文庫」には、児童がすすんで読書ができるよう環境を整え、家庭でも読めるようにする。授業で疑問に思ったことや、興味を持った内容の本を揃え、授業と読書と「自主学習」をつなげる。 ・ 家庭学習を主体的に取り組めるように自主学習の回数と読書量を評価する場を設ける。 ・ 社会的な出来事に興味を持てるように、新聞やテレビのニュースを見ることを呼びかける。
<p>学びの基礎力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 五箇東スタンダードを学習の基本的なルールとする。 ・ 東っ子けんこうカードをもとに、自らの生活習慣の見直しができるようにする。 ・ 東っ子の約束を学校生活を送る上での基本的なルールとする。 ・ 挨拶、廊下歩行、靴・スリッパの並べ方、清掃の指導を継続的に行う。 ・ 東っ子のノートの使い方をもち、わかりやすい（自分なりの）ノートの指導をする。 ・ 読書ノートや前進ノートを活用し、読書活動の充実をはかる。
<p>社会的実践力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年目標「絆～挑戦・団結・優しさ～」を常に意識させ、さまざまな活動の場で、最高学年として自分で判断し、行動できるようにする。 ・ 各行事において全員が一度は実行委員を務め、責任を持って取り組めるようにする。 ・ なかよし活動を通して、下級生にやさしく接する態度を養う。 ・ 中学校に向けて、各自の目標を実行・達成させ、自尊感情を高める。

